
arts minds blade wards - rast spelor -

深桩佳 藍茅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

a r t s m i n d s b l a d e w a r d s - r a s t
p e l o r -

【Nコード】

N2888Y

【作者名】

深証佳 藍茅

【あらすじ】

江戸時代末期に一人の占術師によって書かれた『呪詛』と呼ばれる14組28本+2本の計30本で構成された巻物。これを巡り、それらを所持した者たちはパートナーと手を組み、『戦争』と称された戦いに身を投じていた。

そこに、『戦争』を終わらせるために動いた青年と、突如巻き込まれた少女が現れたことにより、運命は狂い始める――。

1 (1) opening

何もかもが寝静まった夜の道を、青年はただ歩いていた。黒いコートに黒いズボン、黒い靴とまさに黒づくめの彼の整った中性的な顔には、一筋の涙がこぼれていた。そして手のひらを見る。掠れた血で汚れた手のひらを握り、彼は額に当てた。そして、あの時交わされた会話を思い出す。

「……それで、あんたはこの後どうするつもりなんだ？」

「何度も言っただけだ。もしお前が生き残ったら、僕がお前に手を下すと」

目の前にいる、自分と似たような顔をした青年。声も似た彼は、さらに言葉を続ける。

「やっぱそうなるのか。……じゃあさ、約束してくれねえかな」

「何を約束するんだ。ろくでもないものだったら……」

「もし、俺が死んだらあんたがこの戦争を終わらせてくれないか」

「……っお前……！」

「これはあんたにしか出来ないことだ。それに、俺はこいつを守らないといけない。何があってもだ」

「それは、お前のエゴだとも云うのか。」

「もうエゴでも何でもいいよ。それにこれは、俺たち二人しか知らない『呪詛』を持っているあんたにしか頼めないものだ。だから約束してくれ。絶対、終わらせるって……」

「……解っている。この先の三叉路は、すべて一方通行だ」

独り言のようにつぶやいた青年は、頬に流れていた涙を拭く。

「それでもいい。その先にお前が望んだ世界があるなら、僕は必ず

そこへ辿り着いて見せる」

そして、青年は星の煌めく夜空を見つめた。

「だから、もう少し待っていてくれ、恭丞。……必ず、終わらせる」
その手に、叢書で経文のように書かれたものに目も向けぬまま。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2888y/>

arts minds blade wards - rast spelor -

2011年11月11日10時04分発行